

千葉豪雨、台風25号の災害対策、 復旧の取り組みについて

～神谷市長とともに復旧、生活再建に向け全力で取り組んでまいります～

本年8月に発生しました千葉豪雨、9月の台風25号で被災されました方々にお見舞い申し上げます。発災以降、神谷市長はじめ執行部とともに復旧・生活再建に向けた取り組みを行ってきました。千葉市の取り組みは他市より対応が早く、国からも評価され、赤間防災大臣はじめ各省大臣、大臣政務官が被災状況の確認に千葉市に来葉しました。私も全てに同行させていただき被害状況を説明させて頂きました。さらに内閣府にも出向き、神谷市長とともに国からの支援要請を求めました。その結果、千葉市は激甚災害地域に指定され、国からの支援が大幅に進みました。神谷市長と私もフルにこれまでの経歴、人脈を生かし、千葉市の災害復旧に対応しています。また、市議会議長として早急に市議会災害対策会議を招集し、情報収集や復旧対応を数回にわたり協議し、市役所執行部とともに取り組んできました。しかしながら、まだまだ不便をおかけしていることも多くあると考えています。今議会では216億円の災害対応・復旧補正予算が可決されました。今後も全力で災害対応と復旧に向けて取り組んで参ります。

R8年8月千葉豪雨被害状況と9月台風25号の復旧・生活再建に向けた取り組み

令和8年8月13日から14日にかけて、千葉市では記録的豪雨が発生し、全国で初めて「レベル5大雨特別警報」を発表。1時間雨量が100ミリを超える観測地点が複数あり、緑区では最大135ミリを記録しました。道路やアンダーパスの冠水、車両の浸水、公共交通機関の運休、帰宅困難者の発生、ライフラインの途絶、都市部特有の課題が顕在化しました。道路冠水などにより6人の方が亡くなり、住宅や公共施設、農業にも甚大な被害が生じた。また、9月の台風被害では緑区で土砂崩れ、冠水が多くみられた。二度にわたる豪雨で山や土手に水分が残り土砂崩れの危険性が増した。

発災直後から全庁体制で対応

市は、8月13日災害対策本部を設置し全庁体制で対応。土砂災害や洪水の危険がある地域への避難指示、56か所の避難所開設、消防・警察・自衛隊などと連携した救助活動を実施した。鉄道の運休に伴い、千葉駅、蘇我駅周辺などに一時滞在施設を開設し、最大3,700人を受け入れた。蘇我駅周辺では、約5,000人が駅構内に滞留し、自衛隊の協力を得て一時滞在施設への輸送を行った。被災者の状況に応じた支援を迅速に進めるため、災害救助法の市全域への適用を決定した。千葉市議会でも災害対策会議を数回にわたり開催し災害の情報収集に務めた。

道路・公共施設などの復旧を推進

9月6日時点で、住宅の床上浸水は936棟、罹災証明書の受付件数は2,983件となっており、現在も被害の全容把握と証明書の早期交付に取り組んだ。道路上には約2,500台の被災車両が滞留しましたが、緊急車両の通行確保を優先して撤去を進め、8月19日には幹線道路、22日には生活道路の撤去を完了した。発災後、災害協定をしている千葉市建設業組合などには私から復旧要請をお願いしました。その結果、旧千葉外房有料道路は順次通行止めを解除し、9月3日には全線で通行が可能となった。学校、保育所、医療・福祉施設は安全確認や応急復旧を進め必要な行政サービスの継続に努めている。停電や緑区小食土町の断水、下水道の使用制限については、私からも関係事業者に早期復旧をお願いし、8月19日までに使用可能とした。その後9月の台風被害で旧外房有料道路では道路崩落が数箇所及び長期の復旧期間を予定する。

被災者の生活再建と農業復旧を支援

市は、床上浸水した住宅の消毒、災害ごみの無償回収、市営住宅の提供、住宅の応急修理、各種証明書の交付手数料免除など、生活再建に向けた支援を進めている。各区役所では、生活・福祉・税・保険などの相談を受け、被災者一人ひとりの状況に応じた支援制度の案内を行っている。災害ごみについては私が顧問をしている廃棄物組合に災害対応を要請、近隣市町村より早く対応ができた。農業は、農作物や農業用機械・施設、農地、農道、用排水路などに多岐にわたる被害が発生し、被害額は20億円を超える見込みです。農地や農道の復旧、農業用機械・施設の再建や修繕、営農再開に関する相談窓口を設け、国の支援制度も活用しながら、農業者の再建を支援していく予定。

国への要望と今後の災害対策

被災自治体の財政負担軽減や迅速な復旧・復興に向け、災害救助法の適用範囲の拡大、激甚災害の指定、被災車両対策、アンダーパスの浸水対策、農業基盤や幹線道路の復旧に必要な支援を国に要望しました。今回の豪雨では、都市部で従来の想定を超える短時間の大雨があり、新たな課題が明らかになった。これまでの対応を検証し、今後の災害対応に生かすとともに、被災された方々が早く日常生活を取り戻せるよう、復旧と生活再建を最優先に取り組んでいく予定。

